

表乙二七

明治卅三年二月十七日

内閣書記官

内閣總理大臣

内閣書記官長

文部大臣へ回付案

別紙を按陳議決等知り各學校ノ正科ニ置クノ
旨取ル者以テ重要ノ件存古及以テ回付也

明治卅三年二月十七日

内閣總理大臣

内

閣

擊手劔ヲ各學校ノ正科ニ置クノ請願

長野縣長野市士族柴田克巳外六名呈上

右本院ニ於テ採擇スヘキモノト議決致候
依テ意見書相添及送付候也

明治三十三年二月十六日

貴族院議長公爵近衛篤磨



内閣總理大臣侯爵山縣有朋殿

乙二七

貴族院

意見書

擊劍ヲ各學校ノ正科ニ加フル件

長野縣長野市士族柴田克己外六名呈出

右ノ請願ハ尙武ノ基礎ヲ固フシ神洲固有ノ美風ヲ存セムト欲スルトキハ闔國多數ノ青年ヲシテ劍術ヲ講習セシメ劍道ノ貴フヘキヲ知ラシメサルヘカラス方今諸學校隨意科ヲ設ケ擊劍ヲ學ハシムルモノ多シト雖生徒皆正科ニ力ヲ專ラニスルヲ以テ隨意科ヲ修ムル者少シ是レ深ク遺憾トスル所ナリ因テ更ニ高等小學校尋常師範學校尋常中學校小學校ノ正科ニ擊劍ヲ加ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十三年二月十六日

貴族院議長 公爵近衛篤磨

内閣總理大臣 侯爵山縣有朋殿